



日本共産党松浦市議会議員

安江ゆう子の市議会だより

実効性のある防災計画、避難計画を

日本共産党の安江ゆう子市議は定例3月市議会で、原子力防災計画、子育て支援の拡充、国保税の値上げ、成年後見制度の問題について一般質問をしました。

福島原発事故から4年が経ちましたが、原発事故は収束するどころか、放射能汚染水問題も含めて、今なお被害は拡大するばかり。福島県では12万人が県内外で避難生活を送っています。

九電が玄海原発の再稼働をめぐしているなか、安江ゆう子市議は「減原発から、一歩進めて脱原発にかじを切られるべき」と友広市長に迫りました。そして、玄海原発が現在存在し、使用済み核燃料が置かれていたものでは、防災計画や避難計画は実効性のあるものが必要だと追及しました。さらに、原子力事業者である九電の災害時の責務を明確にすることを求めました。



1月24日の避難訓練



安定ヨウ素剤

安江 医療施設、福祉施設での避難計画はできていますか。

防災課長 関係者に集まっていたら、県主催の避難計画策定マニュアルの説明会が開催されたところで、まだできていない。

安江 保育所や学校の避難計画はどういう状況ですか。

防災課長 万一、事故が発生した場合、原則として学校から保護者へ連絡して引き渡す。しかし、昼間に事故が発生した場合は迎えに来られない方もおられるので、今後、教育委員会と協議を進めていく。

安江 避難時のバスや運転

手の確保はどうなりますか。

防災課長 市の輸送計画では人口の20%、約5100人を集団避難者と想定したところ、135台程度のバスが必要。災害時には30キロ以内の他市との調整も必要になってくる。バスと運転手の確保は

「子育てするなら松浦市」へ

さらに支援の拡充を

子どもの医療費助成を現物給付へ

松浦市では定住促進住宅子育て支援家賃助成や転入者支援家賃助成、給食費の助成、

保育料の軽減、中学校卒業までの医療費助成の各制度が実施されています。今年度から第2子から保育料が無料になり、子どもの医療費助成制度は高校卒業までとなりました。

安江ゆう子市議は「子育てするなら松浦市」へと、子育て支援の拡充を求めました。

安江 定住促進のために松浦市がいろんな支援の策がされて、特に子どもの医療費で

県と十分に協議を重ねていかなければならぬ課題。

安江 安定ヨウ素剤の配備体制はどうなっていますか。

防止課長 緊急配付として、市内の小中学校、高校、保育園、幼稚園に各1000錠を配備した。市役所本庁、鷹島支所、福島支所、市内各市立診療所に合計約92000錠を配備している。鷹島地区には今年の秋頃から事前配付の説明会等の準備をすすめていく。

がつて松浦市民としては大変喜んでいきます。そこで、子ども医療費助成を償還払いから現物給付化へと進めてほしい。

子育て・子ども課長 高校生まで現物給付にした場合には約500万円の財政負担増と試算しているが、この助成額の金額よりも医療ネグレクトの防止の観点からも現物給付が大変有効。しかし松浦市のみも現物給付となると、私たちの事務の手間ではなく、医療機関の手間が大変増加し、医療機関の協力が得られないということ、今の時点では難しい。

※「現物給付方式」とは、医療機関受診時に窓口で受給者証（現物給付用）と保険証を提示すると、一定の自己負担額（一日上限800円、ひと月上限1600円）で診療が受けられる制度です。

市民の喜びの声を紹介します

○子どもが4人のお父さん（漁業）

保育料も二人目から要らなくなり、病院代も高校卒業まで心配せんでよかごとになって、よかったばい。ばってん、小学校に入れば、一々領収書は役所に届けて、手続きせんばとがね。もういっちょ頑張つて貰わんば。

○入学式でのお母さん

病院に連れて行かんば時、お金の心配せんでよーなつた。よかつた。



御厨中学校の入学式